

児童発達支援センターあんず

令和3年度 児童発達支援に関する事業所自己評価

(R4年3月実施)

職員向けアンケート結果	配布数	13	回答数	11	回答率	85%
-------------	-----	----	-----	----	-----	-----

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	0%	
	② 職員の配置数はであるか	82%	0%	18%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ●支援の質をより向上させるためにもう少し増やしたいところ。 ●曜日により足りない日もあるが、担任外の職員が入るなど工夫している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ●注目すべきポイントが分かりやすくなるよう室内環境を整えている。 ●一回のスケジュールも構造化している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	0%	0%	同上
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	91%	0%	9%	0%	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	0%	

業務改善	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	0%	●理事会、評議員会にて
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	91%	0%	9%	0%	●OJT中心に(コロナのため) ●地域連携日がなかったため、研修機会が少なかった。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	0%	●アセスメント表、評価表を活用
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	0%	●アセスメント表、評価表を活用
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域紙ね」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	0%	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	91%	0%	9%	0%	
	⑮	活動プログラムが固定かしないよう工夫しているか	100%	0%	0%	0%	●枠組みは変えず内容を多彩にしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	91%	0%	9%	0%	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	0%	●毎日実施
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100%	0%	0%	0%	●毎日実施
	適切な支援の提供	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	0%
⑳		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	0%	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	0%	●クラス担当、児発管、管理者で参加
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	●保健センター、幼稚園、保育園、その他子育てのこと
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	●対象児が利用していない
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%	0%	0%	0%	●対象児が利用していない
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	0%	●保育所等訪問支援と児童発達支援の組み合わせにより、連携は密。入園前より連携している。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	0%	●必ず入学前に引き継ぎ会議を行っている。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	0%	●交流の場を設けている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	70%	0%	30%	0%	●併用通園をすすめている。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	0%	●こども部会に参画(部長会)
連携関係機関や保護者との連携	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	0%	●親子通園の利点を活かしている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	78%	0%	22%	0%	同上

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	0%	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	0%	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	0%	●親子通園により毎回話す時間を設けている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	70%	0%	30%	0%	●会の活動はないが、親子通園の利点を活かし交流の場を作れている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	0%	●すぐに対応するようにしている。利用日以外、夜間休日も対応できるようにしている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%	●園だよりを毎月発行している。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	0%	
説明責任等の	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	0%	50%	0%	●コロナ禍のため実施なし。
非常時等の対	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	91%	0%	9%	0%	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	0%	

応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	0%	
非常時等の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	90%	0%	10%	0%	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	89%	0%	11%	0%	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	0%	22%	0%	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	71%	0%	29%	0%	●対象児がいない。